

3. 4年生向き

ねんふゆやす としよ 2025 年冬休みすいせん図書



『ちるるのシンフォニー』

佐和 みずえ（さわ みずえ）／作
南波 タケ（みなみなみ たけ）／絵
小峰書店 2025 年 151p F/4

詩音の祖母・菊田千鶴は、音楽コンクールに出場することを宣言した。75歳になった今も、ピアノを弾きたいという夢があったのだ。詩音は、ピアノを教えることにな

って…。



『泣き虫ビンゴ!』

木内 南緒（きうち なお）／作
森田 るり（もりた るり）／絵
岩崎書店 2025 年 86p F/4

小学三年生になっても、ツヨシはなにかあるとすぐなみだが出てしまう。そんなある日、ツヨシがこぼしたなみだを「泣き虫」のルイに、スポイトですわれてしまった。ル

イは、なみだを集めて、必要なところへとどける仕事をしている虫の一族だという。

おお いそ ちよう りつ と しょ かん
大 磯 町 立 図 書 館 61-3002

『大どろぼうホッツェンプロッツ』

プロイスラー／作 トリップ／絵

中村 浩三（なかむら こうぞう）／訳 偕成社 2010 年 184p F4/7°

ホッツェンプロッツが、少年カスパールのおばあさんのコーヒーひきをぬすでしまった。カスパールと親友ゼッペルは大どろぼうをつかまえられるのか。

『それからぼくはひとりで歩く』

アリシア・モリーナ／作 星野 由美（ほしの ゆみ）／訳

犬吠 徒歩（いぬぼう とほ）／絵 ほるぷ出版 2025 年 105p F6/ε

目が見えない男の子、ハイメの日常は、家では決まった場所にある決まったものを使い、外では音やにおいで道を把握するなど、工夫にあふれている。

『や・い・ろ・の』

いまた あきこ／文 南波 タケ（みなみなみ たけ）／絵

文研出版 2025 年 111p F/4

転校してから友達もできずに毎日を過ごしていた小学四年生の大樹。ある雨の日の帰り道、竹藪の中で小さな古い建物を見つける。

『煙のように消えるねこ』

リンダ・ニューベリー／作 田中 薫子（たなか かおるこ）／訳

丹地 陽子（たんじ ようこ）／絵 徳間書店 2025 年 74p F3/ε

サイモンが引っ越してきたのは、裏庭のある赤いレンガづくりの古い家。ある時、隣の家の裏庭で猫に話しかけているおばあさんを見たのだが…。



おいそまちでんしとしょかん
大磯町電子図書館

<https://web.d-library.jp/oiso/g0101/top/>

でんしとしょかん
もあるよ！